

P06b 「あかり」全天サーベイのカタログ・アーカイブ・サーバ(AKARI-CAS) 公開

山内千里、稲田久里子、片野雅之、藤嶋幸美、山村一誠 (ISAS/JAXA)、石原大助 (名古屋大学)

2009年度末に一般に公開されることになった赤外線天文衛星「あかり」による全天サーベイカタログを使って、幅広い研究に対応可能なデータ公開サービス「『あかり』カタログ・アーカイブ・サーバ(以下、AKARI-CAS)」を構築し、カタログ公開に合わせて提供するので報告する。

AKARI-CASは、ISAS/JAXAの宇宙科学データ公開サービスである「DARTS」(<http://www.darts.isas.jaxa.jp/>)の一部として開発・公開されるものである。今回公開したサービスは、「あかり」のFIS(遠赤外)とIRC(中間赤外)カタログについて、RDBを利用した検索サービスと、いくつかのビジュアルツールである。Radial Search, Rectangular Searchのような基本的な検索サービスに加え、ユーザが用意したポジションリストにヒットする天体を検索する「Cross Identifications」、ユーザのSQL文をWebページまたはローカルコマンドから実行できる「SQL Search」があり、カタログを使った幅広い研究に対応できるサービスとなるよう工夫した。特に、SQL Searchについては、研究者がSQLを容易に書けるよう、入門ページと入力例を充実させた。これらを使った検索結果画面には、ビジュアルツールの1つである「Explore Tool」へのリンクが作成され、Explore Toolでカタログの情報に加え、QL画像や外部サイトへのリンクのような様々な情報を得られるようになっている。

講演ではAKARI-CASの概略を紹介し、ポスターブースでは各サービスについて詳しく説明する。このようなデータ公開サービスは研究者のニーズが重要なので、ぜひブースに来ていただき、今後のサービスについての活発な議論ができればと思う。